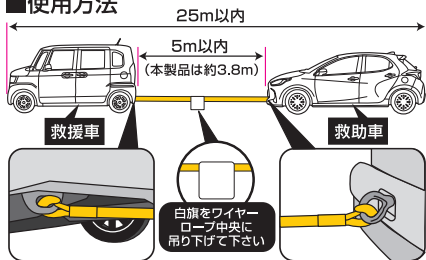


けん引用のびのびロープ

- 警告**
- 自動車のけん引以外の目的には、使用しないでください。
 - 本製品を使用して、車両を吊り上げる又は吊り下げる行為はできません。
 - けん引する場合は、周囲に人がいない事を必ず確認してください。
 - 本製品が地面と水平になる状態で使用してください。
 - 本製品は脱出用(脱輪等)には使用できません。
- 注意**
- 使用する前に、本製品が破損していないか確認してください。
 - 車両側のけん引フック形状で、本製品が使用できるか確認してください。
 - 救助車両のエンジンやEVシステムが停止していると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作が通常より重くなります。
 - 本製品は正しく接続してください。
 - 本製品を接続時、バンパーやボディー等に接触していないか確認してください。
 - 救助車側には運転手以外は同乗しないでください。
 - けん引中は急発進、急停車、急加速等しないでください。
 - けん引中は、本製品が地面に接触しないよう車間距離に注意してください。
 - けん引中は、本製品の中間に白旗を吊り下げ、30km/h以下の速度で走行してください。
 - 本製品に、凍結防止剤や薬品等が付着したまま放置すると、それが原因で極端に強度が低下する場合がありますのですぐに洗い流し十分に乾燥させてください。

■使用方法



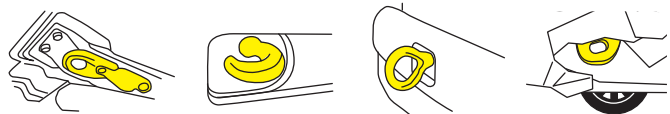
使用後は、汚れや水分等しっかりとふき取り、十分乾燥させた後、この収納袋に入れ大切に保管してください。

※道交法により、一般公道で使用できるけん引ロープの長さは5m以内、救援車前部から救助車後部までは25m以内、基本的に法定速度は時速30kmと定められています。

※高速道路ではけん引しないでください。

■車両側の主なけん引フック形状

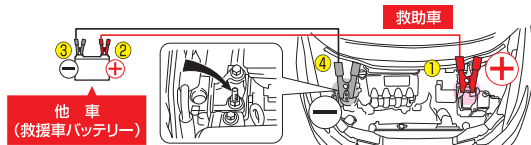
※詳しくは車両取扱説明書で確認してください。



ブースターケーブル

- 警告**
- 本製品は、バッテリーの上がった車両に、一時的に電源を供給するためのケーブルです。目的以外のご使用は止めてください。
 - ブースターケーブルは、正しい順序で接続してください。
 - バッテリー容量が同じか、それ以上の救援車を選んでください。
 - 本製品を使用して、バッテリーサイズD23を超えるバッテリー同士の接続は出来ません。
 - ※バッテリーサイズD23を超えるバッテリーでご使用になりますと、エンジンがかからなかったり、電線・クリップ・クリップカバーが発熱、発煙、溶解等して危険です。又、バッテリーサイズD23以下のバッテリーでも、状態によりかからない場合があります。
 - 屋内で使用しないでください。
 - 電圧(ボルト)の異なる車には接続しないでください。
 - 接続作業中、誤接続(取扱説明以外の接続)・ショート(赤クリップと黒クリップの接触)はしないでください。
 - バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
 - 接続作業中、クリップを車のボディーに接触させないでください。
- 注意**
- 電線・クリップ・クリップカバーに破損・腐蝕がないか、ご使用前に点検してください。
 - クリップは、使用中に外れない様、しかり接続してください。
 - ブースターケーブル接続後、エンジンをスタートする際、接続部周辺に人がいない事を必ず確認してください。
 - ご使用中、火気に近付いたり引火しやすい物のそばで使用しないでください。バッテリーが爆発するおそれがあります。
 - ブースターケーブルが、冷却ファンやファンベルトに巻き込まれない様にご注意ください。

ブースターケーブルをつなぐ手順



手順1 救援車のエンジンを停止する。

手順2 ブースターケーブルを下記の順序でつなぐ。

- ①赤色のブースターケーブルを故障車のバッテリーの⊕端子につなぐ。
- ②赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの⊕端子につなぐ。
- ③黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの⊖端子につなぐ。
- ④黒色のブースターケーブルのもう一方の端を故障車の未塗装の金属部につなぐ。

手順3 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転を少し高めにして、約5～10分間故障車のバッテリーを充電する。

手順4 故障車のエンジンキーを3秒間回す、又はスタートボタンを押す。

※エンジンがかからない場合は、7秒間以上休止して、再度行ってください。

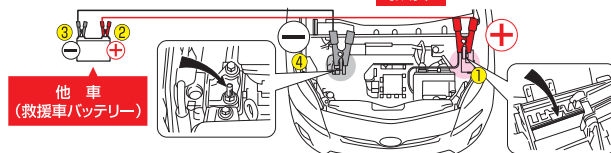
※上記の作業を10回行ってもエンジンがかからない場合は、ブースターケーブルの使用を止め、容量の大きいブースターケーブルに変えるか、他の故障原因を調べてください。

手順5 故障車のエンジンがかかりましたら、ブースターケーブルが冷却しているのを確認して、接続と逆の順序で取りはずす。

※エンジンを切らずにそのまま走行し、早めに自動車販売店もしくは、カーディーラー等でバッテリーを点検してください。

ハイブリッド車(救援用端子がある車)にブースターケーブルをつなぐ手順

- ※救援用端子は、他の車からの応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。
この救援用端子を使用して、他の車のバッテリーあがりを救援することはできません。
※メーカー、車種、年式によってはブースターケーブルの接続位置や接続方法等が違う場合がありますので、車両取扱説明書で確認してください。



手順1 ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開ける。

手順2 ブースターケーブルを下記の順序でつなぐ。

- ①赤色のブースターケーブルを故障車の救援用端子につなぐ。
- ②赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの⊕端子につなぐ。
- ③黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの⊖端子につなぐ。
- ④黒色のブースターケーブルのもう一方の端を故障車の未塗装の金属部につなぐ。

手順3 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転を少し高めにして、約5分間故障車の補機バッテリーを充電する。

手順4 "パワー"スイッチがOFFの状態ですぐ車のドアを開閉する。

手順5 救援車のエンジン回転を維持したまま"パワー"スイッチをいったんONモードにしてからハイブリッドシステムを始動する。

手順6 READYインジケータが点灯したことを確認する。

点灯しない場合は、この手順でハイブリッドシステムを始動することはできません。

手順7 ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順序です。
※始動後は早めに自動車販売店もしくは、カーディーラー等でバッテリーを点検してください。